

2020年度(令和2年度)あるまつりかレインボー

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月15日

事業所名 あるまつりかレインボー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	0	活動によって部屋の使い方を考えている	利用人数によってはかなり狭いため、活動の内容によって部屋を分けたりしている
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	適切である	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4	1	階段昇降時は指導員を配置している	段差があるので今後バリアフリーに向けて要検討
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎月会議にて行っている	業務改善に積極的に取り組んでいる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	管理者を中心に改善に向けた会議などは行っている	職員に会議等で共有はしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	0	会社HPで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	0	0	実施している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	0	毎月会議で研修を行っている	年間スケジュールにて研修内容を決めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	面談を通して立案をし、職員にも周知している	個別支援計画は職員に周知し支援計画に沿った対応を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0	0	個人ファイルで保管している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0	毎日のミーティングで検討している	職員をチームで分けてチームで立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	0	デイリープログラムを前月の終わりに決めている	会報にも載せて保護者の方にも周知し固定化しないように検討している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0	0	平日と長期休暇では過ごす時間が違う為設定を変えている	長期休暇中は休みに入る前に児童と活動を相談。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	集団活動の中で個別の課題ができるような内容作りをしている	主要となる職員以外は支援計画を意識できていない者が少ない
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	毎日ミーティングは行なっている	毎朝、必ず朝礼を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0		直接打ち合わせが出来ない時もあるので、共有事項があるときはその日のうちに職員連絡ツールなどで共有する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	個人記録は必ず記載している	経過記録を支援計画の内容に基づくものに出ている面がある

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	会議で話し合いをしている	定期的なケース会議がやり切れていない時もある
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10	1	0	4原則は意識できている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	0		児発管以外に役割を担えるものがない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	送迎時に申し送りは常に受けている	必要に応じてケア会議を行う時もある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	2	0		非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	0	0		非該当
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	0	0		現状は非該当
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	0	日々連携している	まめに連絡をとり、児童の様子をお知らせしたり助言を受けたりしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1	1		今年度はコロナの為交流できなかった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11	0	0		地域の協議会等の案内は来ているので内容によっては参加も検討している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	キッズノート、面談を通して共通理解を行う	保護者との共通理解が基本なので、何かあれば必ず連絡を取り合うようにしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	1	0		ペアレントトレーニング研修を受けた職員はいるので、保護者に案内済だが、コロナの為なかなか思う様に出来ず
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0	契約時に重要事項説明書で必ず保護者で説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0	キッズノートを活用し必要時は面談を行う	敏速に対応するべく、相談があった時はすぐに対応を心掛けている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	0		毎年、父母の交流を目的とした行事を再開していたが、今年は新型コロナの影響で行えず
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0		苦情解決体制はあり、契約時に保護者にも説明しているが大きな苦情等にはこれまで至っていない
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	0	毎月、会報を発行している	
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	職員全員周知している	同意書を作成しているが、全ての職員が内容の詳細まで把握していない現状があるため研修等で周知していく

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	児童への対処はしている	保護者は現状非該当
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	1	1		今後検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	0	0	作成して周知をしている	周知に留まっているため定期的なマニュアルの読み合わせなどを行なっていくなど今後行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	0	活動等で毎月行っている	避難訓練に緊迫感を持たせるようにして行きたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	0	毎年必ず研修を行い、会議でも話し合いの機会がある	身体拘束の要件など日々意識しながら療育を行えるように心がけている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	0		身体拘束の該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	0	モニタリングで保護者に確認を必ず実施	該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	0	毎月会議で共有している	月ごとにまとめ、よりヒヤリハットを沢山出せるような視点を身に付けられる様に会議で話し合ってきた結果事故が減ってきた

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。